

東風東路小学との交流（小学部）

広州日本人学校小学部では、現地校である東風東路小学との交流を行いました。この交流学习では、同じ年代の中国人の子どもに日本人学校や日本文化を紹介することで日本のことを知ってもらうことや、学んでいる中国語や英語を使い、コミュニケーションを図り、お互いに理解しあうことをねらいとして実施されました。

今回は、東風東路小学の子どもたちが広州日本人学校に訪問してくれました。1年生は、一緒にはさみを使って折り紙を切る「ちょききよきかざり」を作りました。2年生は、和紙で折り染めをしました。3年生は、日本の文化の遊びを一緒に体験したり、発信したりしました。4年生は、ソーラン節を一緒に踊りました。5年生は、紙粘土で一緒にお寿司を作りました。6年生は、けん玉やこまで一緒に日本の伝統文化を体験しました。

この交流会に向けて、事前に簡単な中国語・英語の単語の練習をしました。到着した時は、緊張気味の子どもたちでしたが、活動を共にしている間に、自然にコミュニケーションが生まれ、「習った中国語でお話できたよ」「謝謝と言えたよ」「友達になれたよ」と話していました。身振り手振りを使って、自分の思いを一生懸命伝えようと頑張っている姿も見られました。また、「日本のよさを上手に伝えられなかったから、次は〇〇をがんばりたい」「たくさんコミュニケーションをとれるように中国語の勉強をもっとがんばりたい」など課題を見つけ、前向きに取り組もうとする姿も見られました。学んだことを活かし、伝えられた、分かりあえたという喜びを体験できたり、自ら課題を発見できたりする貴重な機会となりました。そして、中国の友達と交流するよさを共に感じ、笑顔あふれるすてきな時間となりました。

